

津波等の突発大災害からの避難の課題と対策に関する研究委員会
2012年度第1回避難の課題の調査・分析部会（都市避難部会）議事録（案）

文責：久保

日 時：2012年10月10日（水）16:00～17:45

場 所：工学院大学新宿キャンパス 28階役員会議室

出席者(敬称略)：大原、大森、久保、後藤、末松、久田、廣井、真船、ユンナミ

配布資料：

- 1-1 2012年度第1回避難の課題の調査・分析(都市避難問題)・議事次第
- 1-2 避難の研究委員会 研究部会割り付け
- 1-3 各委員の最近の研究活動領域、この研究委員会での活動への要望
- 1-4 大規模震災時の大都市における避難に関する課題（久田委員）
- 1-5 大原美保 自己紹介（大原委員）

議事

1) あいさつ、資料、出席者確認、幹事選定

- ・避難の課題の調査・分析部会（都市避難部会）の幹事として、久田部会長より日建設計シビル 大森委員と工学院大学 久保委員が幹事に選任され、委員に承認された。

2) 本部会の方針確認

- ・資料1-1に基づき、久田部会長より方針の説明があった。
- ・このWGでは、主に大都市の避難にかかる問題について、研究を進めていく。
- ・大都市の複合的問題として、帰宅困難者、都市津波、水害などマルチハザードについて、進めていく。

3) 各委員の自己紹介・研究紹介

- ・各委員から簡単な自己紹介が行われた。
- ・久田部会長から、資料1-4の2012年地震工学会に投稿した梗概に基づき、自己紹介が行われた。
- ・大原委員から、資料1-5を基に自己紹介が行われた。
- ・廣井委員から、プレゼンを基に自己紹介が行われた。
- ・ユンナミ委員から、「地震防災研究を踏まえた退避行動等に関する作業部会」の報告書が提示され、後日委員へメールで送付する。

4) 本部会の活動計画

- ・久田部会長から資料1-1に基づき、本部会の活動計画について、提案があった。
- ・各自現在行っている研究や関心のある研究を進めていくことを中心に、部会で報告するなどで進めていく。
- ・延長も可能であるが、2年間で成果をまとめることを目標に部会を進めていく。
- ・都市避難における複合的な問題を題して、整理し、報告書としてまとめていく。
- ・今後委員会・部会を進めるに当たり、下記の意見が挙げられた。
 - 避難に関する用語(一時避難所、一次避難所など)を整理・統一する必要があるのではないか。
 - ユンナミ委員からの提示された「地震防災研究を踏まえた退避行動等に関する作業部会」

の資料が参考になるのではないか。

5) その他

- ・ 建築学会のテレビ会議システムが利用できるか事務局に確認する。
- ・ Google+ハングアウト の利用も検討してみる。
- ・ 小山委員に次回の会議の際に、工学院大学の会議システム(Polycom HDX-8000)が利用できるか確認してみる。

6) 次回会議

11月26日(月)16時～、場所は議題5のテレビ会議システムを利用できるか確認のち、調整。

各委員から活動計画を持参、研究紹介(大原委員、大森委員、久保委員)を行う

以上